# 主な流れ（参考時間20分間）

研修のポイント

リーダーからの話（例）

近年，校種を問わず授業においてICT機器を利活用するか否か，という点からICT機器をどのように利活用するか，という点に話し合いのポイントが移り，かつ授業でのICT機器の利活用が徐々に浸透し，特別な教具ではなくなりつつあります。その効果は，｢興味・関心を高めることができる｣，「生徒の表情を確かめながら授業を進めることができる」，「生徒の視線を前方に集中させることができる」，「提示教材の切り替え・再提示が容易である」などが挙げられます。しかし，ICT機器を授業の中でどのように利活用すればよいかイメージが湧かないという先生方もいると思いますので，これからICT機器の具体的な利活用の仕方を示した動画をご覧いただきます。その後，ワークシートを用いての話し合いをしていただきたいと思いますので，よろしくお願いします。

ICT機器を利活用した授業実践に向けて（第１回／全２回）

授業におけるICT機器利活用のイメージをもつ

１　導入【約2分】

・校種を問わず授業におけるICT機器の利活用が全国の学校現場で浸透し始め，一定の成果が出ている点などを説明する。

・ICT機器をどのように取り入れていけばよいか先生方にイメージをもってもらうため，MIYAGI Styleの動画を観ていただくことを説明する。

２　ビデオ鑑賞【約5分】

・MIYAGI Styleの動画の前半部分（実践例を提示している約５分間）を視聴する。

３　討議【約10分】

※冒頭2分間程度は，個々人でワークシート作成（(1)，(2)）の時間とする。

・３～４名単位でグループをつくり，ワークシートを用いながらICT機器の利活用についてのグループワークを行う。

・中学校や高校では，グループを教科毎に作るなどの工夫も考えられます。

４　まとめ【約3分】

・グループワークで話し合った内容をグループ毎に発表する。

ワークシート

|  |
| --- |
| 氏名： |

1. 実践例の動画を見た感想等をお書きください。
2. MIYAGI Styleの動画も参考にして，ICT機器の利活用法の例について，該当する欄に○を付けてみてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ICT機器の利活用法（例） | できそうだ | やってみたい |
| １．長文や問題文，図，表等を提示し，板書の時間を短縮する |  |  |
| ２．資料中の注目させたい部分や小さなもの等を拡大提示し，分かりやすくする |  |  |
| ３．生徒が書いたノートやワークシートを撮影して提示し，意見や考えを効率よく共有できるようにする |  |  |
| ４．個々に応じた補足やヒントを提示し，生徒の理解や思考・判断を支援する |  |  |
| ５．その他…思いつくことがあれば書いてみてください |  |  |

1. グループ内で話し合われたことをお書きください。
2. 授業でのICT機器の利活用に関する質問や情報化推進リーダーへの要望などをお書きください。